

# 【上関町】地域ぐるみの防災キャンプ

〈ねらい〉

「地域協育ネット」等が主体となり、地域・保護者・学校・関係機関が連携し、防災や避難に関する総合的な体験活動を実施することによって、児童生徒が、災害発生時に正しい知識をもとに、状況を的確に判断し、安全に行動できる態度を育てるとともに、他の人や地域社会に貢献できる心と実践力の育成を図る。



## 実施内容

- 1 実施日時：平成30年8月4日（土）・5日（日）
- 2 実施場所：上関小中学校 体育館
- 3 参加者：上関小学校児童 8人 上関中学校生徒 16人 関係教職員 8人  
関係保護者 14人 地域住民 16人 町総務課防災担当 3人  
町教育委員会 4人 県教育委員会 1人

### 4 プログラム

1泊2日の予定でしたが、猛暑が続いていたため、健康面（夜間の熱中症など）に配慮し、体育館での宿泊を中止して、2日間の日帰りの日程で行いました。

【1日目】8月4日（土）

14:15	14:30	14:45	16:15	17:15	18:00	18:45	19:00
受付	開講行事	山口県学校防災アドバイザー（幸坂美彦さん） ・講話（ハザードマップ） ・中学生リーダーによる避難生活ルールづくり	着衣水泳体験	夕食準備 夕食	寝床づくり体験	一日目振り返り	解散（帰宅）

【2日目】8月5日（日）

7:45	8:00	9:00	10:30	11:10	
集合	準備	自衛隊による講話	柳井地区広域消防署による訓練・体験 ① 心肺蘇生訓練 ② 簡易担架 ③ 徒手搬送 ④ 段ボールを利用した固定法	振り返りグループワーク	閉会行事 解散（帰宅）

### 5 活動の様子

#### 1日目

《講話・グループワーク・熟議 講師：山口県学校防災アドバイザー》

県学校防災アドバイザー幸坂美彦氏から、災害時の避難生活で起きる課題や災害への備えについて講話をいただくとともに、児童生徒が地域の方々と一緒にグループワークを行い、ハザードマップの見方や避難経路等について学びました。



〔アドバイザーによる講話〕



〔グループワーク〕



〔グループでの発表〕

### 《着衣水泳》

小中学校のプールを使い、着衣泳の体験実習を行いました。水中での動きの大変さや命を守るための方法などを学びました。



〔 歩いてみた 〕



〔 泳いでみた 〕



〔 浮いてみた 〕

### 《夕食作り・夕食》

夕食のアルファ化米等を地域の方々と一緒に作り、グループごとに分け合って食べました。非常食のありがたさや、通常の食事との違いを実感することができました。



〔 作ってみた 〕



〔 食べてみた 〕



〔 おいしい 〕

### 《寝床作り体験》

段ボールを使った寝床作り体験を行いました。当日は宿泊をとりやめ、時間も限られていたために、グループで3～4人分（一家族）の寝床を想定し、作成しました。自分たちが実際に寝ることやプライベート空間、通路等のことも考えながら、工夫して行いました。



〔 作ってみた 〕



〔 寝てみた 〕



〔 気持ちいい 〕

## 2日目

### 《講話 講師：自衛隊山口地方協力本部 柳井地域事務所》

自衛隊山口地方協力本部柳井地域事務所広報官の方から、阪神淡路大震災や東日本大震災、豪雨災害などの様子、自衛隊の活動や使命・役割等様々なお話を聞かせていただき、災害時の大変さやそれを支える人たちの重要性について学びました。



〔災害についての講話〕



〔ビデオ等の視聴〕

《心肺蘇生、応急手当等の訓練・体験 講師：柳井地区広域消防署職員》

柳井地区広域消防署職員の指導のもと、班ごとにローテーションしながら「心肺蘇生実習」、「簡易担架体験」、「徒手搬送法」、「段ボールを利用した固定法」の4つの実習を行いました。緊急時に自分たちでもできることや命を守る様々な方法を学びました。



〔徒手搬送法〕



〔簡易担架〕



〔心肺蘇生法〕



〔段ボールを利用した固定法〕

【児童・生徒の感想から】

○いつどこで起こるかわからない災害に備えることの大切さ、避難所でのルールなどについてグループで話し合いを深めることができたのでよかったです。日頃から防災についての意識を高めることが必要だと思いました。ハザードマップを見て家族で話し合いたいと思いました。

(小学女子)

○アルファ化米はおいしかったけれどずっと食べ続けるのは難しいと思いました。(小学女子)

○救助実習では、目の前に倒れている人がいたら、勇気を出して助けようと思った。(小学女子)

○避難生活をしている人の気持ち、ルールがとても伝わりました。たくさんの人の気持ちを考えて行動することはどれだけ大変かがよくわかりました。(小学女子)

○暑そうだけど、段ボールで寝てみたかったです。(中学男子)

○今回の防災キャンプで避難所の確認や避難経路の確認を改めてすることができたのでよかったです。(中学女子)

○今までは経験がないけれど、これからは災害が起こったとき、子どもだけでも避難できたり、人を助けられたりしたらいいなと思います。(中学男子)

○今回の防災キャンプで避難所の確認や避難経路の確認を改めてすることができたのでよかったです。(中学女子)

○実際に避難している方々のことがよくわかりました。いろんな気持ちがこみ上げてくると思いました。今回の防災キャンプを体験していなかったら実際に(災害が)あったときにパニックになると思いました。人を助ける仕事につきたいので、これを機にいろいろと調べたいです。

(中学女子)

○災害時に自分がどのように行動すればよいかを知ることができた。(中学男子)